※令和３年度以前入学生用

学校番号	T1202

令和５(2023)年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	2～4年次
使用教科書	「MOUSA 2」　（教育芸術社）						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽器を奏でること、歌をうたうこと、音楽を聴くことを更に推し進め、世界のあらゆる分野の音楽を体験します。
・楽譜の持っている意味を読み取ることに慣れ親しみ、それぞれの音楽をもっと自由に触れられるように、感じられるように、操ることが出来るようになることを目指します。
・そして、何よりも皆さんが音楽を好きになれることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽を受け身に感じるのではなく、自らが進んで音楽を表現することが出来るように、そして、それが普通のことと感じられるように音楽に慣れ親しむ。今までとは違った音楽の一面を垣間見たり、感じ方が出来るよう努力する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現のための創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・教材となる作品を知っている、知らないの如何に関わらず、その作品へ積極的に取り組もうとする態度 ・作品の全体像をどのように捉え、またそれをどのように音とし表そうとしているか	対象とする音楽の情報を楽譜や既存の演奏などから感じ取り、実際に演奏する段階に於いて、それら必要な事項を踏まえて臨もうとする意欲と力	楽譜に書かれている音、テンポ、リズムなどを読み取り、器楽演奏、歌唱などを行う力	楽譜に書かれている内容を理解し、個々の曲を演奏するための基礎的・基本的な力を身に付け、それぞれの曲に相応しい表現に繋げることが出来ているか
評価方法	学習状況の観察	学習状況の観察	演奏の聴取 実技テスト	学習状況の観察 他の生徒たちとのアンサンブルなどの観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	比較的歌いやすい歌から	[歌うこと] ・ハナミヅキ ・涙そうそう	○	○	○		a自主的に歌うことに取り組んでいる。また曲の雰囲気を掴もうとしている。 b:曲の特徴を捉え、それらを感じながら自分自身で歌声に出すことが出来ている。 c:表現したいことが自分の歌声として表れている。	観察 演奏の聴取
	メロディの美しさを楽器で奏でよう	[器楽演奏] ・スタジオジブリ・メドレー ・愛のテーマ(ニュー・シネマ・パラダイスより)	○	○	○		a:印象的なメロディを音にし、大まかな形を表現しようとしている。 b:曲ごとの特徴を捉え、それに相応しいテンポ、リズムを踏まえた表現が出来ている。 c:生徒の演奏、そして他の生徒との兼合いを考えた合奏、それらの違いを踏まえながら演奏出来ている。	観察 演奏の聴取
	音楽とダンスの関係を探る	[鑑賞] ・くるみ割り人形(バレエ) オリジナルとディズニー映画になったもの、そこから発展し、同じくディズニー映画のファンタジア、ファンタジア2001など ・ラテン・アメリカの音楽 (その代表的なものから、情熱大陸のような比較的耳にすることが出来る作品)	○			○	a:作品それぞれの特徴と、その中で使われているそれぞれの楽器の特徴を理解しようとしている。また音楽と映像が結びついたときの効果を感じている。 d:これらの曲が舞台作品として、また映像作品として表現されたものを鑑賞し、音楽のみならず、色んな芸術との結び付きを感じることが出来ている。	観察 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

後期	親しみ易い曲を歌う	[歌うこと] ・道 ・糸 ・Amazing Grace ・夢やぶれて	○	○	○		a: 歌うことに取り組んでいる。自分のうたと他のパートのアンサンブルを味わっている。 b: 各曲の特徴はどの様な点で、それは何処なのか。それらを踏まえ、感じながら声に出すことが出来ている。また、他のパートと自らのパートの関係性を理解しようと努力し、演奏に繋げている。 c: 表現したいことが歌のソロのみならず、他の人とのアンサンブルの形として表れている。	観察 演奏の聴取
	楽器でメロディを奏でる	[器楽演奏] ・上を向いて歩こう ・涙そうそう	○	○	○		a:曲に相応しい楽器の選択をイメージ出来ている。またそれらの楽器の特性を活かそうとしている。 b: 各フレーズ、曲全体をどの様に奏でることが相応しいのか、テンポ、リズム、ハーモニーなどをイメージしながら演奏している。 c:理想とする演奏に近づくことを倦むことなく出来ている。	観察 演奏の聴取
	世界の音楽作品の変転を感じる	[鑑賞] ・オペラ～ミュージカル （時代の流れに沿って代表曲を鑑賞し、それらの特徴を捉える）	○			○	a:個々のオペラやミュージカル作品の、時代、国（言語）、演出など、それらの違いを感じている。 d:歌、器楽、美術、舞踊、そして演出等々、あらゆる要素の結び付きの素晴らしさを感じている。作品に興味を抱いたり、感動を抱いた心が、これまでとは異なった視点を音楽に見出している。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現のための創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。